

稲荷木・田尻・鬼高地区の3月の調査結果のお知らせ

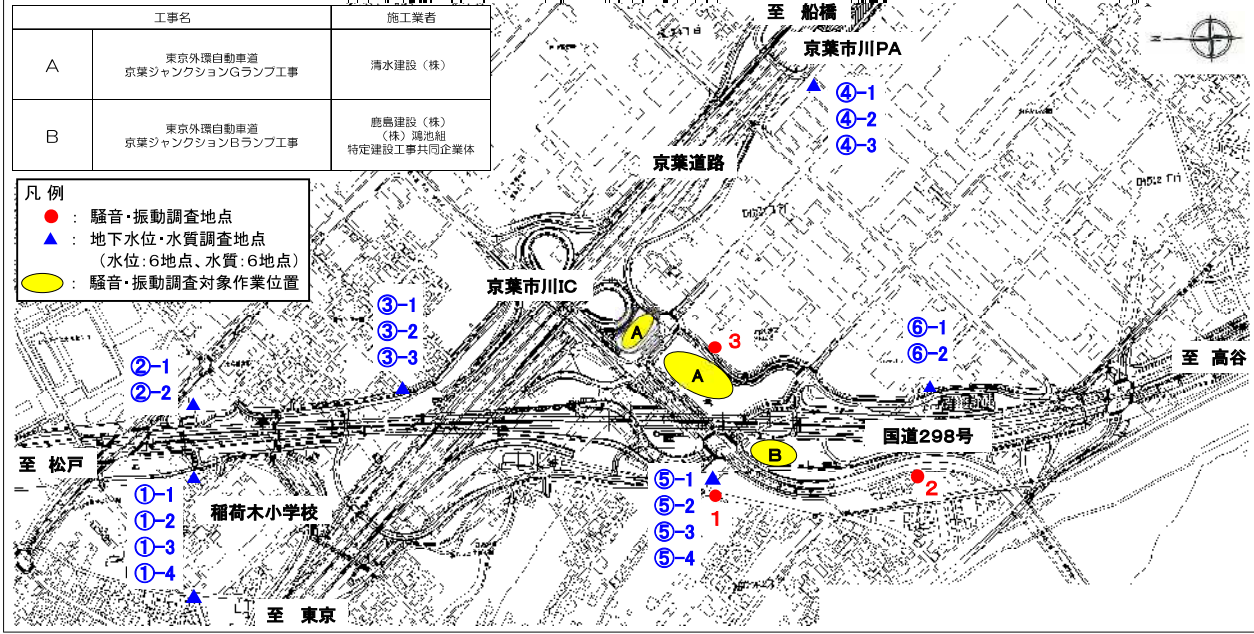
平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社の外環事業では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株
 干業工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 堀池組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)
 - : 騒音・振動調査対象作業位置



作成日 令和5年4月19日

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	59	36	3月17日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	66	45	3月17日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	61	46	3月17日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水調査結果(採水日:R5年3月27日、28日、29日)

地下水調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.2	7.7	8.0	8.0	8.2	8.0	7.8	7.6	8.0
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.6	8.1	8.0	7.0	7.5	7.9	8.1	7.6	7.7
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該地点において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

3.地下水水位調査結果

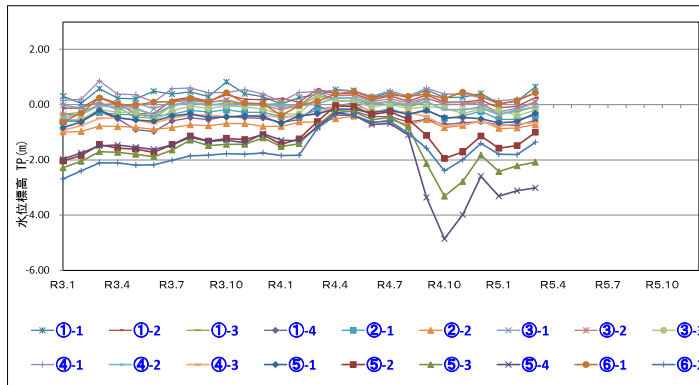
地下水水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	1月	0.035	-0.115	-0.320	-0.720	-0.531	-0.861	-0.250	-0.380	-0.190
	2月	0.135	-0.055	-0.250	-0.750	-0.531	-0.841	-0.120	-0.160	-0.410
	3月	0.645	0.255	-0.080	-0.570	-0.391	-0.711	0.110	0.080	-0.200
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R5	1月	0.145	-0.360	-0.775	-0.660	-1.580	-2.420	-3.310	0.020	-1.795
	2月	0.205	-0.200	-0.675	-0.610	-1.480	-2.210	-3.120	0.140	-1.805
	3月	0.425	-0.080	-0.665	-0.310	-1.000	-2.080	-3.010	0.437	-1.364

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の4月の調査結果のお知らせ

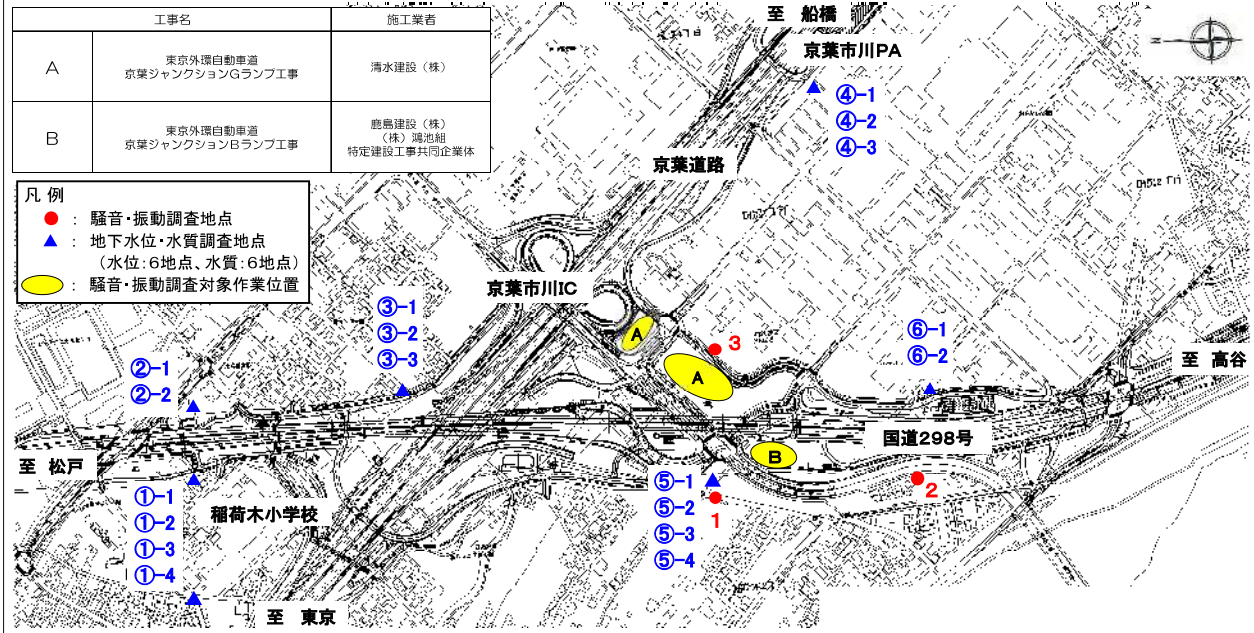
平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社の事業所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路(株)
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 堀池組 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)
 - : 騒音・振動調査対象作業位置



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクションBランプ工事	57	35	4月25日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクションBランプ工事	65	44	4月25日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクションGランプ工事	66	48	4月25日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水調査結果(採水日:R5年4月26日、27日、28日)

地下水調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.2	7.7	7.9	7.9	8.0	8.0	7.7	7.4	7.9
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.4	7.9	7.8	6.9	7.4	7.7	7.9	7.4	7.5
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固結剤は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固結剤は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/Lリットル以下とされています。また、「0.005未満」とは、当該地点において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水水位調査結果

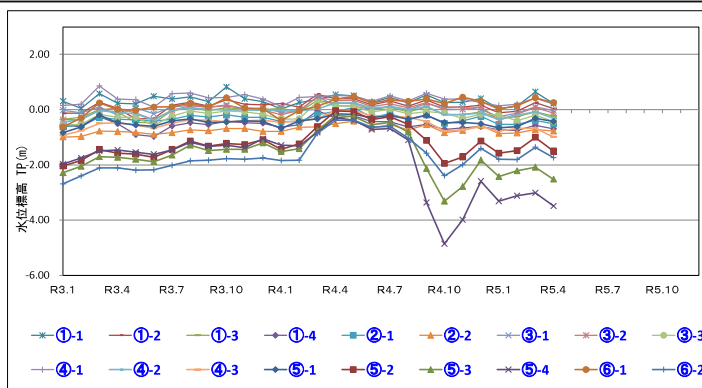
地下水水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	2月	0.135	-0.055	-0.250	-0.750	-0.531	-0.841	-0.120	-0.160	-0.410
	3月	0.645	0.255	-0.080	-0.570	-0.391	-0.711	0.110	0.080	-0.200
	4月	0.220	0.040	-0.230	-0.690	-0.510	-0.780	-0.040	-0.120	-0.430
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R5	2月	0.205	-0.200	-0.675	-0.610	-1.480	-2.210	-3.120	0.140	-1.805
	3月	0.425	-0.080	-0.665	-0.310	-1.000	-2.080	-3.010	0.437	-1.364
	4月	0.200	-0.310	-0.990	-0.430	-1.500	-2.520	-3.490	0.250	-1.740

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の5月の調査結果のお知らせ

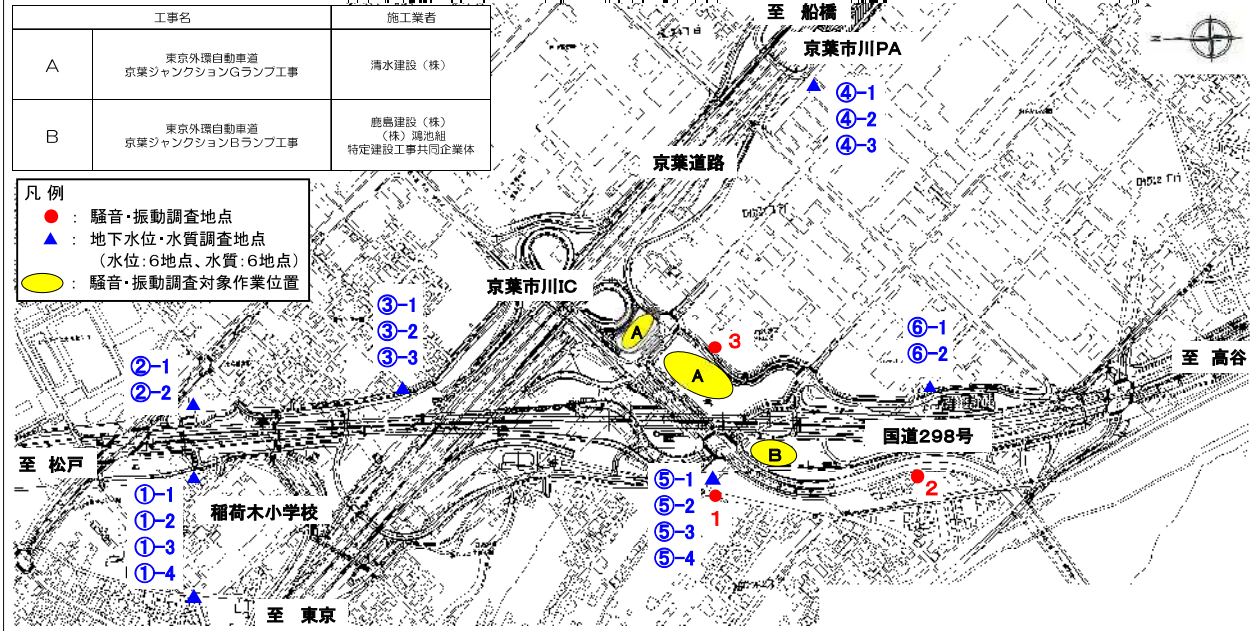
平素は、東日本高速道路㈱の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路㈱干葉工事事務所では地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路㈱
 干葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションGランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 海地雄 特定建設工事共同企業体

- 凡例
- : 騒音・振動調査地点
 - ▲ : 地下水位・水質調査地点
(水位:6地点、水質:6地点)
 - : 騒音・振動調査対象作業位置



2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。
 ○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	56	35	5月18日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	64	45	5月18日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	63	49	5月18日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準		特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準 85	特定建設作業に伴って発生する振動の規制に関する基準 75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
 騒音の大きさを騒音レベルといひ、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
 騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R5年5月24日、25日、26日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①				②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
pH	7.4	8.0	8.1	8.1	8.1	8.1	7.9	7.4	8.1	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
pH	7.7	8.0	8.1	7.2	7.7	8.1	8.1	7.7	7.8	
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	

解説

- pH(水素イオン濃度)
 地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
 地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/L(リットル以下)とされています。また、「0.005未満」とは、当該観測において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水位調査結果

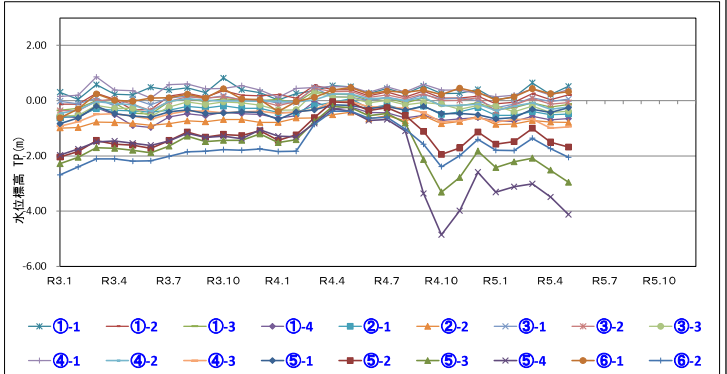
地下水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	3月	0.645	0.255	-0.080	-0.570	-0.391	-0.711	0.110	0.080	-0.200
	4月	0.220	0.040	-0.230	-0.690	-0.510	-0.790	-0.040	-0.120	-0.430
	5月	0.520	0.210	-0.140	-0.650	-0.480	-0.790	0.060	-0.070	-0.380
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R5	3月	0.425	-0.080	-0.665	-0.310	-1.000	-2.080	-3.010	0.437	-1.364
	4月	0.200	-0.310	-0.990	-0.430	-1.500	-2.520	-3.490	0.250	-1.740
	5月	0.410	-0.230	-0.950	-0.260	-1.680	-2.950	-4.120	0.330	-2.050

解説

- T.P.m
 東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。



稲荷木・田尻・鬼高地区の6月の調査結果のお知らせ

平素は、東日本高速道路株式会社の外環事業にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。
 東日本高速道路株式会社の事業活動は地域の生活環境の保全に努めつつ外環事業に取り組むために、騒音・振動調査、地下水水位及び地下水質についての調査を毎月実施しております。

■連絡先：東日本高速道路株
 千葉工事事務所 技術課
 TEL:043-350-3342

1.調査項目および調査地点

工事名	施工業者
A 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	清水建設(株)
B 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事	鹿島建設(株) (株) 堀地組 特定建設工事共同企業体

凡例
 ● : 騒音・振動調査地点
 ▲ : 地下水水位・水質調査地点
 (水位:6地点、水質:6地点)
 ● : 騒音・振動調査対象作業位置

2.騒音・振動調査結果

騒音レベル L_{A5} および振動レベル L_{10} を下の表に示します。

○法律による規制基準を満足しています。

調査地点	付近の工事内容	騒音レベル L_{A5} (dB)	振動レベル L_{10} (dB)	調査日
1	京葉ジャンクション Bランプ工事	57	37	6月21日 昼間(8時~17時)
2	京葉ジャンクション Bランプ工事	65	44	6月21日 昼間(8時~17時)
3	京葉ジャンクション Gランプ工事	63	47	6月21日 昼間(8時~17時)
法律による規制基準	特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準	85	75	

解説

- 騒音レベル L_{A5}
騒音の大きさを騒音レベルとい、dB(デシベル)という単位で表します。騒音レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から5%目の値を L_{A5} と表します。これは、「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」に示された規制基準と比較する値です。
- 振動レベル L_{10}
騒音と同様に、振動レベルをある時間測定したとき、全測定値の大きい方から10%目の値を L_{10} と表します。これは、「振動規制法施行規則」に示された規制基準と比較する値です。

3.地下水質調査結果(採水日:R5年6月21日、22日、23日)

地下水質調査結果を下の表に示します。
 毎月調査している項目として、pHおよび六価クロムがあります。
 ○pHおよび六価クロムに異常はありません。

調査地点	①			②			③		
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3
pH	7.6	8.0	7.9	8.1	8.1	8.1	7.8	7.8	8.1
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.007	0.005未満	0.005未満	0.005未満
調査地点	④			⑤			⑥		
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3
pH	7.9	8.0	8.1	7.2	7.7	8.1	8.1	7.8	7.9
六価クロム(mg/L)	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.007未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満

解説

- pH(水素イオン濃度)
地盤改良等に使用するセメント系固材は強アルカリ性を示すため、地下水中にセメントが混入した場合、pHがアルカリ性に傾くおそれがあることから測定を行っております。pHについては地下水における環境基準は定められていません。なお、pH=7が中性であることを表しております。
- 六価クロム
地盤改良等に使用するセメント系固材は、条件によっては地下水に六価クロムとして溶出するおそれがあることから測定を行っております。六価クロムの地下水における環境基準は0.02mg/L(リットル以下)とされています。また、「0.005未満」とは、当該地点において六価クロムを定量できる最も小さい値を下回っていることをいいます。

4.地下水水位調査結果

地下水水位の調査結果を下の表に示します。
 ○地下水水位の低下が一部で確認されました。
 引き続き注視していきます。

単位: T.P.m

調査地点	①			②			③			
	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	③-1	③-2	③-3	
R5	4月	0.220	0.040	-0.230	-0.690	-0.510	-0.790	-0.040	-0.120	-0.430
	5月	0.520	0.210	-0.140	-0.650	-0.480	-0.790	0.080	-0.070	-0.380
	6月	0.350	0.160	-0.160	-0.610	-0.460	-0.730	0.080	-0.020	-0.340
調査地点	④			⑤			⑥			
	④-1	④-2	④-3	⑤-1	⑤-2	⑤-3	⑥-1	⑥-2	⑥-3	
R5	4月	0.200	-0.310	-0.990	-0.430	-1.500	-2.520	-3.490	0.250	-1.740
	5月	0.410	-0.230	-0.950	-0.260	-1.680	-2.950	-4.120	0.330	-2.050
	6月	0.250	-0.350	-1.090	-0.410	-1.860	-3.170	-4.530	0.360	-2.370

解説

- T.P.m
東京湾の海面の平均高さを0として、標高を表す時に用いる単位です。

